

個々の問題の出題の意図及びその正答率

数学 中学校 第2学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		見方や考え方	表現・処理	知識・理解	
数と式	①	1	1	同類項をまとめる計算をすることができる。				80.8
		2	2	分配法則を使って、多項式に数をかける計算をすることができる。				81.9
		3	3	単項式の除法の計算をすることができる。				69.6
		4	4	単項式の乗除が混じった式の計算をすることができる。				74.1
	②	1	5	連立方程式を手順を示して解くことができる。				78.7
		2	6	問題の中の条件に着目して、連立方程式に表すことができる。				74.9
	③		7	文字を使った式の意味を読み取ることができる。				63.9
	④	1	8	問題場面から考察の対象を明確にとらえ、式に表すことができる。				81.7
		2	9	文字を用いて、整数の性質が成り立つ理由を考えることができる。				40.3
		3	10	新たな整数の性質を発展的に考えることができる。				49.7
図形	⑤	1	11	六角形の内角の和の求め方について理解している。				91.9
		2	12	n角形の内角の和の求め方について考えることができる。				72.8
	⑥		13	平行線の性質を使って角の大きさを求めることができる。				78.8
	⑦	1	14	平行線の性質を理解している。				79.2
		2	15	図形の基本的な性質を利用し、説明することができる。				57.5
	⑧	1	16	図形についての証明を読み、証明を振り返って評価することができる。				66.8
2		17	証明の評価に基づき、正しい証明を考えることができる。				64.4	
数量関係	⑨	1	18	1次関数の変化の割合が一定であることを理解している。				91.2
		2	19	1次関数のグラフを表すことができる。				79.6
		3	20	1次関数の式を求め、求め方を説明することができる。				54.8
	⑩	1	21	1次関数のグラフで、傾き、切片の意味について理解している。				73.1
		2	22	1次関数の特徴を理解している。				66.0
	⑪	1	23	具体的な事象の意味をグラフから読み取り、考えることができる。				91.1
		2	24	グラフから、与えられた事象に対応する時間を求めることができる。				79.3
		3	25	グラフの傾きからどちらが速いかを考えることができる。				62.6